

# 緊急時パーソナルメモ

※油性のペンで記入してください。

●所 属 大学院研究科  
学部・学科

●氏 名

●生年月日 年 月 日  
血液型 ( )

●現 住 所  
〒 -

●帰省先住所

●緊急時連絡先（本人以外）

続柄（ ）

●その他（持病・常用薬・アレルギーなど）

※本カードを拾得された方は大学まで連絡してください  
(TEL : 0569-87-2213 総務課)

## 大学への安否報告について

本学では、愛知県内または保証人住所のある都道府県で震度5弱以上の地震が発生した場合、安否確認メールが学生・教職員の**大学メールアドレスに自動送信**されますので、状況を報告してください。



### 安否確認専用アプリの活用

専用アプリ(ANPIC)から複数のメール登録やLINEとの連携も可能です。右のQRコード先にあるマニュアルから登録してください。



## 大学からの情報発信方法

大学からの情報発信はホームページより行いますので、隨時確認してください。

### 日本福祉大学ホームページ

<https://www.n-fukushi.ac.jp/>



※本カードは大学ホームページよりダウンロードが可能です。

# 防災・減災 カード



2025年4月



日本福祉大学  
(災害ボランティアセンター監修)

## 地震が発生したら

### 身を守る

- ・机の下等に隠れる
- ・火の始末を行う
- ・脱出路の確保(ドアを開ける)
- ・危険物から離れる

### 地震が収まったら

### 安全の確保

- ・周囲の状況を確認する
- ・今いる場所が危険なら、避難所などに移動

### 身の安全が確保できたら

### 家族と連絡

- ・事前に確認した連絡先に安否を報告
- ・今後の行動や集合場所、連絡先を確認する

### 帰宅判断

- ・正確な情報収集に努める
- ・学外にいる場合は警察や消防・避難所の指示に従う
- ・学内にいる場合は指示に従う

### 大学へ安否報告を行う

報告の方法は、項目「大学への安否報告について」を参照

## 家族との連絡方法

電話で確認

### NTT災害用伝言ダイヤル・伝言板

171をダイヤル

録音1

暗証番号を利用 録音3

再生2

暗証番号を利用 再生4

該当者の電話番号を入力

伝言の録音  
(30秒以内)1

伝言の再生1

インターネットで確認

### NTT災害用伝言板 WEB171



インターネット上から伝言  
(文字)を登録・閲覧することができます。

<https://www.web171.jp/>

## 防災・減災関連情報サイト

(2025年4月時点。ご使用のスマホによっては、QRコードを認識しない場合があります。文字検索等でサイトを確認してください)

### 携帯各社の災害伝言板



docomo・ahamo



au



softbank・Y!mobile・LINEMO



楽天モバイル

上記を除くキャリアを利用されている方は、NTT  
災害用伝言板 WEB171(左面を参照)を利用してく  
ださい。登録の体験(毎月1日・15日など)も可能です。

### NHKニュース防災アプリ

**NHK**  
ニュース  
防災

アプリ



iPhone



Android

### 日本気象協会



天気予報のほか、地震・津波・  
火山・台風情報等を提供

### TEAM防災ジャパン(内閣府)

防災に関するあらゆる情報が  
集約されたポータルサイト



### 災害時障害者のためのサイト (NHK)



災害発生時に、支援を要する方  
を対象に、防災や減災のための  
ヒントがまとめられています。

### ハザードマップポータルサイト (国土交通省)

洪水・土砂災害・高潮・津波などの  
リスク情報をはじめ、各自治  
体が作成したハザードマップの  
閲覧が可能です。



## 災害が起きる前に私たちができること

### 安否確認方法・集合場所の確認

災害はいつ発生するかわかりません。家族との  
安否確認方法や集合場所等を事前に決めておき  
ましょう。

### 避難場所や避難経路の確認

居住地や通学・通勤経路上にある自治体の防災  
マップを確認し、避難場所や移動経路を確認して  
おきましょう。

### 食料・飲料、常備薬の備蓄

3日分を目安に、食料・飲料や常備薬などのパー  
ソナルグッズを備蓄しておきましょう。また、通  
学・通勤カバンにお菓子などを入れておくのも  
お勧めです。

### スマートフォンは災害時の生命線

家族との安否確認や情報収集の手段として、  
スマートフォンは必須アイテムです。日頃の充電  
はもちろんのこと、モバイルバッテリーなどの  
充電器が大いに役立ちます。